

## プレマール『中国語文注解』（Notitia Linguae Sinicae）（I）

千葉 謙悟

以下はプレマール *Notitia Linguae Sinicae* (1720) の和文全訳である。

ジョセフ・アンリ・マリー・ド・プレマール (Joseph Henry Marie de Prémare, 1666-1736) は中国名を馬龍周、字は若瑟という。イエズス会のフランス人神父であった。1666年ノルマンディーのシェルブールに生まれた。ルアーヴルの人という説もある。1696年に神父に叙せられ、1698年(康熙37)来華、江西饒州、建昌などで伝道した後、1714年(康熙53)北京へ上った。中国語に通じ、『易経』研究にも業績を残した。典礼問題に絡んで1733年(雍正11)澳門に放逐され、1736年(乾隆元)当地に没する。儒教や中国史、典礼問題などに関する著作がいくつか知られているが、中国語研究にとって最も重要なのはパリ国立図書館などに蔵せられている *Notitia Linguae Sinicae* (1720) である。

本書は長らく草稿のままパリ国立図書館に埋もれていたが、1831年にマラッカの英華書院で出版され、1847年にはこれに基づき英訳本が出された。訳者はブリッジマン (James Granger Bridgman)、アメリカ人初の来華プロテスタント宣教師 E. C. ブリッジマンの親戚である。この英訳本においては、ローマ字標音が当時のフランス語式から英語式に改められ、同時に発音そのものも19世紀的なものに修正されている。また本文には原文の部分的な省略あるいは原文にはない増補もあるため、カスティージャ語原典の影印をページごとに対照できるヴァロ『官話文典 (Arte de la Lengua Mandarin)』英訳本とは違い、ブリッジマンによる英訳本を軽々に『中国語文注解』そのものとして用いるのは危険であろう。しかし、現在までにこのプレマールの著作に言及するものはすべて英訳本を本にしているといってよい。

一方で、日本においては、何群雄氏が英華書院版の影印を出版した。『初期中国語文法学史研究資料 プレマールの『中国語ノート』』三元社、2002がそれである。巻末に编者による解題が付されているが、残念ながら本文は影印のみで訳文が付されていない。とはいえ、原典がパリへわざわざ出向かずとも手に入るようになったという状況は、『中国語文注解』の研究にとって好条件がそろいつつあることを示している。こうしたことからラテン語原典より和訳を試みる次第である。なお、訳文中では、英訳の誤りや省略をすべて指摘した。ラテン語文の解釈がブリッジマンとは異なる場合も同様である。

最後に、この翻訳では *Notitia Linguae Sinicae* を『中国語文注解』と訳す。周知のように日本ではすでに何2000で『中国語ノート』と訳され、中国では『漢語筭記』と記されるのが普通である。しかしラテン語の *notitia* という単語の意味を考えると「ノート」や「筭記」よりは「注解」と訳す方が適しているように思われる。

### <凡例>

・底本は何群雄編『初期中国語文法学史研究資料 プレマールの『中国語ノート』』三元社 2002 を用いた。これはフランスのパリ国立図書館蔵本 (マラッカ、英華書院 (Anglo-Chinese College) 影印、1831) の影印本である。

・本文中に用いられた漢字、ローマ字標音は誤植も含めできるだけ忠実に記した。誤り

と思われるものについては一々sicの字を付した。右から左に向かって書かれている漢字文字列は右に進むよう改めた。本文中に用いられた単漢字や漢字文字列は「」でくくり、訳文と区別した。漢字に付されたラテン語訳については“ ”を用いる。本文中で言及されている書名については漢字を用いて表記されない限り基本的に『』で示した。

・中国語がローマ字でのみ書かれている部分はその表記を記し、その後[ ]を付して推定される漢字を加えた。ただし、固有名詞は煩瑣をさけて適宜ローマ字も[ ]も付さずに訳したところがある。

・英訳本において削除されている箇所は下線で示す。原文にはないにもかかわらず、意味を明確にするため以上のフレーズや文が追加されていると判断される部分については注で指摘した。

・対照のため用いた英訳本は *The Notitia Linguae Sinicae of Premare. Translated into English by J. G. Bridgman.* Canton: Printed at the Office of the Chinese Repository, 1847 である。

### <本文>

『中国語文注解』

プレマール師著

マラッカ

英華書院刊

1831

かの高貴なる英国東方文学会の最高の支援によって  
その寛大にして熱烈なる援助によって  
フランスはパリ国立図書館蔵本から  
影印され世に送り出された  
この『中国語文注解』を  
最高の敬意と感謝の心を以て捧げる  
編者

### 書前の導入部

この3つの序章で説明を試みるのは以下の通りである。第一に中国の書物について。第二に文字について。第三に中国語が持つ全音節の正確な索引を附録にて与える。

### 第一章：中国の書物について

この部分の内容は3つある。即ち第一に、中国の書物の一般的な知識を直ちに得るための、中国の書物を上手く分類するやりかたに言及する。第二に、私は本を選ぶ最善の順序を明らかにし、その方法を判定する。第三に、辞書についていくつかの注記を与えよう。

## 第一節：中国の書物について一般的な注記

中国の書物はたくさんの部に分けられる。なぜなら書物は異なった時代のものであれば、すべてが信頼できるわけでもなく、またすべてが同じよって書かれているわけでもないからである。

第1部には、中国のあらゆる作品の中でも「經 kīng と呼ばれる最古の作品群を置く。

「易 y kīng [經] 「詩 chī kīng 「書 chū kīng が最高の地位を占める。

第2部には一般的に「四書 ssē chū つまり四冊の本が挙げられる。それらは經典とされる。それらに中国の文人たちが格別の関心を払うからである。即ち第一に「中庸 tchōng yoūng、第二に「大學 tá hiō、第三に「論語 lūn yù、第四に「孟子 mǒng tseè である。それらに「春秋 t'chūn t'siōu と「禮記 lì kí を加える。

第3部には「道徳經 táo tē kīng、「南花經 nán huā kīng、「儀禮 y lì が来る。

第4部には「楚辭 t'sòu tseē、「關尹子 kouān yūn tseè、「列子 liē tseè、「荀子 sūn tseè、「楊子 yāng tseè、「孟子 mǒng tseè が置かれねばならない。孟子は現代の中国人によって格上げされ、孔子の位置と同じ所へまで引き上げられた。

第5類には「左氏 tsò chí、「穀梁 kǒu leāng、「公羊 kōng leāng の三冊を置く。これは『春秋』に注釈を施したものである。左氏は「國語 kouē yù という他の文学作品をも残した。さらに「呂不韋 liū pǒu ōuēi を加えることがある。これは古代の事件について多くのことに言及している。また同様に「淮南子 hòu nán tse、「司馬遷 ssē mà tsiēn、「說文 chōuē vèn なる辞書の著者「許慎 hiū chìn、また「鄭樵 tching ts'iaō および当時のほかの作品を加える。

第6部では「韓愈 hān yù、三人の「蘇 sōu、「王安石 vāng ngān chě、「曾南豐 tsēng nān fōng、「歐陽脩 ngēōu yāng sioū および他の文人たちを置く。かれらはすばらしい文章を残し、また經について議論した。

第7部では儒教經典の解釈者たちを置くことができる。二人の「孔 k'ōng<sup>1</sup>、「王肅 vāng sōu、「毛萇 māo tch'āng、「鄭玄 tching huēn、「王弼 vāng pī などが古人ではすぐれている。「宋 sōng 王朝の下では多くの人物があらわれたが、その代表者は「朱熹 tchū hī である。そして、最近の人々の間では第一に数えられねばならない。記憶に残る偉大なる皇帝<sup>2</sup>が「日講 gě kiāng という注釈において、またその治世の終わりごろに編纂された「周易折中 tcheōu y tchē tchōng においてもそうである。

第8部は近代の師たちである。彼らの格言は「性理大全 sīng lì tá ts'ūēn にまとめられている。この中での大師は「周濂溪 tcheōu liēn k'ī である。彼の後、「朱熹 と「邵康節 cháo k'āng tsie<sup>1</sup>の前には二人の「程子 t'ching tseè と「張載 tchāng tsái が優れていると賞賛される。

第9部には歴史的な文献を置く。それらが拙劣に書かれているからというわけではなく、

1 孔安國と孔穎達を指す。

2 康熙帝のこと。原文 Imperator groriasae memoriae。英訳でも直訳のまま。

関係する事実を知る上でそれほど大事ではないからである。他にも私にとって重要と思われるものがある。

平易な言葉遣いと文体で書かれた作品についての解説がこの作品の第1部で述べられるだろう。そして第2部では経の文体ではないが、先述の各部の作者たちの作品におけるような、優美かつ流麗に書かれた、第一部とは異なった文体を解説しよう。

### 第二節：中国の書物を読む順序と方法について

私にとって大きく役に立った方法を述べるならば以下のようなになる。始めに、中国の書物を熱心に学ぼうとした時に、中国の筆が愛するような滲みやすい紙ではなく、ヨーロッパのペンが恐れる必要のない上質な紙に書かれた純粋な『孟子』『論語』『大學』『中庸』のテキストに注目したのである。私はそれははっきりと書いた。テキストの行間は十分に空けて、2ページのうち1ページだけに順序よく書いていかねばならない。それから4ページごとに全てをまとめて一冊の本を作り、そうした冊子をつくってから、最後にその本文について吟味し質問するのである。

もう片方の空白のまま残した部分には、自分の注記を書く。この種の注記では、私は常に3つのことを狙っている。第一に、テキストの意味をしっかりと把握し、優美な文体をも学ぶことができるように、すばらしいと思われる文章を集めることである。第二には、同様に、無名の注釈家のあまり上手とは言えぬ文をも集めること。そこから現代の中国人が注釈についてどのように考え、またお互いにどれだけ愚かしい論争をしているのかが知られるだろう。第三には、もしより正しいと思われる表現を思いついたならば、その点について後で中国人と論議するため省略せずに書き留めるということだ。私は文字の脇へその発音と意味を書いておいた。すべての声調と気音を<sup>3</sup>、それに慣れて容易にできるようになるまではしっかりと記しておかれんことを。

私が試みた方法を知り試みようとする人はみな、この方法から多くのすばらしい果実を得るだろう。この本の末尾にはアルファベット順で大量の語の索引が付される。その多量で長く、すばらしい仕事によって、中国の数多くの書籍中の字や、あなたが偶然犯した過ちを調べる際、それを直ちにかつ何の面倒もなく見つけ出すことができるだろう。

筆者は中国語を学ぼうと熱望する全ての人に強く勧める。直ちに自らのために空白のノートまたは本を数冊用意し、一冊には本を読んでいる際に出会ったすべての比喻をメモするのだ。もう一冊には、お互いに逆の意味を持つ字を縦二列に対比させて並べる。もう一冊には種類の出来事によって有名になった古代の事物をノートする。最後の一冊には有名な場所、樹木、花、川、動物、石の名称を記す。なぜなら、これらの事物は優れた文人たちによって強く共感されているからである。

しかし、私は新来の宣教師に十分に認識されるであろうと期待する、というよりは熱望しているところの、非常に重要な点がある。誰も私にやるよう勧めなかったことではあるが、記憶力が確かなうちに彼らには行ってほしい。即ち、中国人の少年がやるのと全く同じやり方で、4冊の古典の書を暗記するべきであるということだ。我々は再び少年へと戻らねばならぬ。この民族にイエス・キリストの教えを喜びとともに伝えたいのであれば。

<sup>3</sup> 原文は accentus と aspiratus。以下それぞれ「声調」「(有) 気音」と訳す。

わたしは愛しよう、この目的は課題の困難さを和らげはしないだろうか？そこで私は最も親愛なるわが兄弟たちに情熱を燃やさせるべく、関連するいくつかの点について適切に触れたい。

第一に、本を暗記する際に、誤って発音された字はすべて記憶から抹消すること。少年のように中国人の教師の話の聞いているだけでは、必ずや自分の耳から知覚する音<sup>4</sup>や声調以上のものを得ることはないからである。

第二に、音声のみを暗記するのではなく、字形や字義をも一緒に覚えねばならないということである。それゆえ、例えば道義という観念自身を心に浮かべるだけではなく、「信」*sín* という文字自体をもイメージして発音するのがよい。そしてその意味を表す二つの部分、つまり「人」*gín* “人間”と「言」*yên* “ことば”を、さらに最終的には、明るい鏡を合わせたようなイメージの中で、声調も付けて *sín* という単音節を覚え込むのである。

第三に、この方法で、最後に習った部分の中国文字を記憶に従って書き出すこと、そして他日、なにか誤りが紛れ込んでいないかを平易なものについて注意深く試すことは、効果不十分とはしない。

第四に、この方法で、中国文字はかたく心に刻まれる。多くの宣教師が認める方法で 1000 語学ぶよりも、この方法で 100 語のみ学ぶことのほうが長く効果を発揮するのである。

第五に、もし三年か四年後にあなたが中国語で何か書こうと思うなら、その時まさにあなたはいたく苦く思えた根から、最も豊かで甘い果実、大きな喜びをもたらす成果を得るだろう。なぜなら、中国文字が自ら進んで、あなたの苦労なくしてそのしかるべき位置に配されるようになるからである。

我らヨーロッパ人の中でこれに説得され、この方法によって面白味のない学習を進んでやり、嘘くさく見えることをやるよう受け入れる人はほとんど誰もいないであろう事は、私にはわかっている。とはいえ、私が見るところ少なくとも二つの、決して欠くべからざる理由から、私は強調するのである。第一に、大いに優れた部分は暗記しておくということである。もし成果がそれほど上がらなくても、必ずや軽蔑されることはないし、そこから利益を得るであろう。なぜなら、宣教師は中国人の本をタイミングよく賞賛し、その記憶にたくさんの知識を保持し、それらについて中国人の教師よりも上手く説明するような外国人を、中国の文人たちがどれだけ評価するか、すぐに経験することになるのだから。第二に、できるだけ早く、中国語をペンで、あるいは少なくとも中国人の使う筆で書くことを学ぶということだ。当初は全くもってうまく形にならず、互いに均整でもなかったものが、手がだんだんこれに慣れてくるのである。さらに中国人が同じ文字を書くさまを観察するのを手助けするならば、例えば「學」*hiö* という字のように書く。第一に「爻」、ついで「E」、次が「ヨ」、第四に「一」、その後「了」、次が「一」である。これによってあなたは少なからぬ利益を得る。あなたは自分のノートを自分で書き、気に入ったものを抜き出すことができる。いつでも助手の筆に頼っているのは面倒でもあるし、非常に貴重な時間を奪われてしまう。

書物を学びまた読んでいくべき順序は以下の通りである。第一に『孟子』から始めよ

<sup>4</sup> 原文 *sonus*。プレマールは *sonus* と *accentus* を別々のものとして捉えている。以下 *sonus* は「音」と訳すが、この語は声調を含まない概念である。

う。なぜなら文体が簡潔すぎないからである。ついで『論語』に進み、第三の段階には『大學』がくる。そして最後は『中庸』である。というのは、このようにして経への足がかりが徐々に形成されるからである。その後は『詩経』、『書経』、最後に『易経』というのが読むべき順序である。

あなたは選ぶべき注釈家は誰かと聞かろう。前の王朝の時代に、tchāng kǒ lǎo [張閣老]が<sup>5</sup>四書、『書経』と『易経』を平易かつわかりやすい文体で、彼が教えていた若い皇子のために解説したものがある。若き日の康熙帝を教育した王立学院の教師たちによって用いられた本も全く同じものだったという事実がある。張閣老が彼の「正解」tchíng xièにおいて口語の会話体で語ったことは、彼の「日講」gě kiàngでより優雅な会話体におきかえられた。正解と日講を所有すること、またこの二冊の注釈を読んで文体の差異を注記するということはともに有益であろう。

そして、もし古代のことをより正確に調査したいのであれば、以下を用意せねばなるまい。第一に「十三經」chē sān jīngである。134巻から成り、注釈、特に漢代と唐代のものが収められている。

第二に「新刊經解」xīn kān jīng xiè 557巻。宋朝、元朝で栄えたほぼすべての注釈を集めたものである。

### 第三節：さまざまな辞書について

新しく来華した宣教師たちは何らかの辞書を得ることを何よりも望んでいる。まるで言語を学ぶためには他の方法など何もないかのように。結果、たくさんの語彙をまるで運搬するかのように正確に筆写するので、余った時間を使って四書を読んだり暗記したりし、長くより良く役立てることができるのである。彼らのどの辞書にも文学作品は載っていないのだが、私はそうした辞書よりも多く作品を示して供するので、通読されたい。そしてすべて、あるいはその最初の部分を一度よく学び、後に見いだすであろう索引を慣れるまで暗唱すれば、その宣教師にとって中国の語彙は何の苦もなく必要な時に探し出すことができるだろう。中国では辞書はまことに多いので、前の王朝の作品から述べていかなければならない。

第一に「正字通」tchíng tsée t'ōng。この辞書についてそんなに信用することはできない。特に字の分析についてはそうである。第二に、「康熙字典」k'āng hī tsée tiènは正字通そのものである。それは十分な正確さと知識とをもって『正字通』の不要で不正確なところを正すよう命じたものだ。第三に「品字箋」p'in tsée tsiēn。漢字を韻<sup>6</sup>に従って並べているが、新しい方式で並べられており、非常に学びやすく、まことに有用である。第四に「現文」choué vén。正確な文字の分析を知ろうとするすべての人によって長い間深く研究されてきた本である。が、ほとんどの人が理解していない。

どうやって中国の辞書で求める字を捜すのかとあなたは尋ねるだろう。漢字は韻に従って配列されており、中国語には代表字として107字あるということを知らねばならな

<sup>5</sup> 張居正のこと。

<sup>6</sup> 原文 rhythmus。以下「韻」と訳す。

い。それは我々のアルファベットのように記憶されている。それを 5 つの声調によって分割するのである。初めの 15 字が第一の声調 一 に属し、次の 15 字は第二声 八、次の 30 字は第三声 \ へ、次いで同数の字が第四声 / へ、そして最後に 17 字が第五声 U に属する。しかしヨーロッパ人によって中国の声調は直ちに慣れるものではなく、この種の辞書は使うのが難しい。

『正字通』と他の辞書は他に派生した 200 あまりの漢字を用いている。これらはちょうど根のようなものであり、中国人は「部」póu と呼んでいる。<sup>7</sup>他の字は根から生える幹である。それは同じ線の数、中国語では「畫」hoá というが、それによって配列され、常により単純な画から始まるようになっている。しかし注意すべきは、数えるのは幹の部分であって、要素たる部首を余計に数えてはならない。このようにして文字「仁」gín は合わせて 4 本の線を持つが、部首を除けば二本の線「ニ」だけが残る。他の点でも注意すべき事がある。つまり、部首となる漢字を、部首から派生するあらゆる字の意味を調べるため、少なからぬ助けとすべきであるということだ。ここで「人」gín を部首を持つのは人に関わるものについていう。「心」sīn を持つものは心ないしは魂に関わる。「口」k'òu をもつものは人の口に、「目」mòu をもつものは目に、「耳」èl をもつものは耳に、「手」cheòu をもつものは手に、「足」tsòu をもつものは足に、「火」hò を持つものは火に、「土」tòu をもつものは大地に、「山」chān をもつものは山に関わる、などである。

しかしこの方法は、ここではそんなに多く示せなかったが、少なからぬ問題を残している。もしうまく韻によって一連の字が並べられたとしても、他の欠点が現れてくるだろう。

第三部で力を発揮するであろう索引は、ヨーロッパ人にとっては誤りを引き起こさないので好評を博し、中国人自身には大きく歓迎されるという、一つの辞書の理想を与えることができるだろう。しかし結局どんな順序で字が並べられていようとも、全体が何本の線（「畫」hoá）でできているか知ることが重要である。従ってすぐにその字の画数を数えることに慣れるようにしていかなければならない。中国語を書くためにペンと紙の使い方を学べば、すぐに会得できるであろう。

## 第二章：中国の文字について

中国の文字は二重体として考えることができる。一つは文字自体であらゆる音や声調から独立したものとして、もう一つは口で発音され、さまざまな音を持つものとして、である。

### 第一節：中国語で書かれるものとしての文字について

中国の文字は他のあらゆる既知のものとは異なっている。即ち一つ一つがある意味を有するため、語彙の数だけ文字があるという点、そして文字自体では音または声調を全く表すことがなく、耳にではなく、まさに心に向かって話しかけるといふ、純粋なイメージと記号<sup>8</sup>であるという点である。

<sup>7</sup> 根は原文 radices(単数 radix)。以下「部首」と訳す。

<sup>8</sup> imagines(単数形 imaginis)、symbola(単数形 symbolum)。以下それぞれイメージと記号と訳す。

例えば「人」という字は、中国語では gīn と一語でいわれるのが普通であるが、同様にギリシャ語で anthropos<sup>9</sup>、あるいはラテン語で homo とも言う。ちょうど数字 1, 2, 3, 4 … があらゆる言語の音を受け止められるようなものだ。世界のすべての国は中国の文字をそれぞれの文法に合わせて用いることができる。

この種の文字、またはむしろ象形文字については、中国人の教師が価値ある事を教えてくれる。しかしこの点について、簡潔さと他の理由から、私は沈黙によって通り過ぎることに決めた。学校の教師たちは単純な、あるいは本質的な字を「丶、一、丨、丿、㇇、乙」の六つ挙げる。私は字の構造を二つの分類に分けることにしている。第一はひとつの形をなし、要素あるいは線（「畫」hoá）より成るものをすべて並べる。即ち、二画なら「人」gīn “人”、「十」chě “10”、三画なら「口」k’òu “口”、「山」chān “山”、四画は「心」sīn “心”、「木」moǔ “木”、五画は「目」moǔ “目”、「石」chě “石”のように、六画は「血」hiúe “血”、「百」pě “100”、七画は「見」kién “見る”、「谷」kǒu “谷”、八角は「門」mên “門”、「金」kīn “金属”、九画は「首」cheòu “首”、「香」hiang “香り”、十画は「本」chū “本” などである。もう一つの分類は、我々の目で要素あるいは部分をはっきりと分かるような字を配する。例えば「林」lín “森” はふたつの「木」である。そして「明」míng “明るい” は「日」gě “太陽” と「月」yuě “月” である、など。

原初から中国の文字は基本的には常に同じだったといえる。なぜなら、文字を構成する要素はさまざまに書くことができるが、文字は各時代においてさまざまな異なった種類へと分化していったからである。現在でも有力な正書法は「隸」lí と呼ばれる。説文なる辞書でよく用いられているものは「篆」tchuèn という。この二つのうちどちらがより古いものなのかはよく分からない。「科斗」k’ò teòu という字については正確には全く定義することができない。漢朝のとき、現在では文人あるいはその著作、または序文や跋文で用いられる「草書」ts’ào chū が現れた。この書体があまり流行らないのはもったないことである。なぜなら字を完全に省略し、たくさんの筆画を一つにつなげてしまうので、明確に構成されねばならない部分が十分に明らかにならず、正しくかつ適切な意味をはっきりさせるための分析を行うことができなくなるからだ。

現在用いられている正書法「隸」lí 自身においても、同じ字がさまざまな字体で表される。第一に「古字」kòu tsée “古代の字”。例えば「金」fā “まねる” は俗に「法」となった。「忝」gīn “慈悲” は俗に「仁」と書かれる。第二には「本字」pèn tsée “適切な字” である。例えば「扌」tsái “ある” は「扌」と書くようになっている。「忝」k’iú は俗に「去」“行く” である。「从」は即ち「從」tsōng “従う” である。「處」は「處」tchù “場所” よりもよく使う。「气」“空気” は俗に「氣」、「与」は俗に「與」“与える” になった。第三に“良く正確な字”、「正字」tching tsée である。少なからぬ種類の字体で書かれる。第四に“卑俗な字”「俗字」soǔ tsée である。教育ある人はみな、説文にない字はすべて俗字であるが、説文に収める 9313 字を越えることはないだろうと言っている。第五に「省字」sèng tsée “省略された字” である。例えば「觀」koūan に対する「覩」

<sup>9</sup> 英訳本ではギリシャ文字で ἀνθρώπος と書く。



“見る”、「變」pién に対する「変」、「禮」に対する「礼」、「聖」に対する「圣」である。第六に「偽字」ouéi tsée “まがいものの字”である。例えば「思’ “考える”は「恩」と書かれる。この六点から、たくさんの字を規則的に増やしたわけではないということが明らかになる。一度四、五千字をよく把握すれば、本を読み中国語で作文できない人など確実にいなくなると言われている。そしてどの宣教師が、自分は五回も六回も学ぶような<sup>10</sup>十分な記憶力も才能も持ち合わせていませんなどと進んで告白するであろうか？

### 第二節：発音されるものとしての文字について

中国人がある文字の発音法を教えるには、別の二つの字を示す。この二字は互いに組み合わさって、目的の第三の字の音が意味されるのである。例えば、「天」という字をどう読むか知るためには、「他」tā「年」nièn という二字の組み合わせによる。第一の字は求める音の声母<sup>11</sup>を示し、二番目の字はその韻母<sup>12</sup>を示すのだ。しかし助けとなるその二字がどのように読まれねばならないかを知らなければ、これだけでは何の助けにもならないのは明白である。単独では「他」は tā と読まれ、「年」は nièn と読まれるが、第一の字から t を選び、第二の字からは ièn を選ぶことで、「天」tièn という字の音を生み出すのである。そして他についても同様である。しかし我々にはきわめて易しいことが、我々の文字のような原理を持たぬ中国の文人にはきわめて難しいのである。

われわれはそこで我々の文字がもたらす有利さを実感する。何よりも音の記憶に役立つのである。なぜなら、一度中国文字の音をヨーロッパの文字で字の脇へ記しておけば、もし後で記憶から抜け落ちてても、常に紙には留められているからだ。必要な時いつでも直ちに自分の目で確かめられるのである。しかし、もしもこの方法で全く中国文字を書くことなくすべてのページを書くならば、それは全く無益である。一つは文の意味が数日で理解できるようになるかも疑わしいからである。スペイン語では chi、イタリア語の ci、フランス語の tchi はどれも誤りではない。この音を持つ中国文字は多く、またその同じ音の下に同じ声調がある。もし「知」なら“知る”であり、「支」なら“枝”であり、「之」ならば“属格の記号”であり、「蜘蛛」ならば“蜘蛛”である。この4字は明らかに多くの点で異なっているが、字の側に置かれるのが tchi であつても ci で<sup>13</sup>あつても、それは常に同じ一つのものであつて、それ自体に何か意味があるわけではない。とにかく、明白なことは、中国文字は口で発せられれば一度に声調と音を表す。音は鋳型に流し込まれる金属のようなものであり、声調はその鋳型の形のようなものである。従って両者は等しく正しい発音を要求するのである。第一に<sup>14</sup>、このために、文字は鋳型の台座として認識される。つまり、その文字の正しい音が把握されねばならない。第二に、鋳型の形にも注記がある。それは、文字の正しい声調がもたらされねばならないというこ

<sup>10</sup> 原文の通り。一回に 1000 字を学ぶという意味であろう。そのようなカリキュラムがあったのかもしれない。

<sup>11</sup> 原文 initium。以下「声母」と訳す。

<sup>12</sup> 原文 finis。以下「韻母」と訳す。

<sup>13</sup> 英訳には「あるいは chi」という一節が付される。

<sup>14</sup> 英訳では「第一に～、第二に～」とは分けずに訳す。内容は同一である。

とだ。この両者は別々に行い、まずは声調から始められたい。なぜなら我々はそのようにしてこそよりよく付録を扱うことができるからである。

#### 第一パラグラフ：中国語の声調について

文字の純粹な音とは身体のようなものである。そして、声調はその魂である。例として「看」「見る」を挙げる。中国語自体が与える音は k'an であり<sup>15</sup>、声調は直線的な k'an である。そして時には鋭い k'an となる。これら三点、つまり音、気音、声調はすべて不可欠である。同じように発音されながら、意味の全く違う文字がある。明白なことであるが、もし正確に k'an といえ、周囲の状況によって、つまり会話がよってたつところのもの、そして語に先行あるいは後続するものから、中国人はその音が「見る」を意味するのだと難なく理解する、ということは明白なのである。このようであるから、もし不適切にも気音 k'an もなく声調 k'an もなく k'an を発音したならば、これはヨーロッパ人が非常に努力を中国語学習に費やしたのにも関わらず中国人にはほとんど理解されない理由である。彼らは教育を受け、天賦の才能があり、積極的であるが、全生涯を通じてほとんどはどもりながらでしか話せない。一方で愚かなアラブ人の中には非常に短期間で中国人自身と同じくらい上手く話す者もいる。舟で出発して中国のある土地へ派遣され、そこでヨーロッパのペンもないまま現地語でやっていくよう命ぜられ、中国語だけを聞くこととなった宣教師たちは幸せである。

中国の声調は「平」p'ing と「仄」tse<sup>sic</sup>に分かれる。声調 p'ing 「平」あるいは“正しく平らかな声調”は「清」ts'in<sup>sic</sup>、“澄んだ”と「濁」tch' “濁った”に下位区分される。あるいは“明るい”と“暗い”でも同じである。そして「仄」という声調は「上」chàng “上昇する”「去」k'ü<sup>sic</sup> “投げ去る”、「入」ge<sup>sic</sup> “入る”に下位区分される。なぜならこの三つの声調は本当に逸れていくからである。ただし chàng [上] は上昇するかのようであり、k'ü [去] は押し下げるかのようであり、ge [入] では中へ落ちていくかのようだ。<sup>16</sup>最初からこれらの語は発音できなくとも、中国語では一八\∨の五つの声調が常に聞かれ、よく知られ区別される。第3節においてより明確に述べよう。狙った意味の通りの声調を発せねばならないというような字は少なくない。中国人は子供を教える際に読む字の四つの角の一つに小さな○を打つのが普通である。例えば「爲」が p'ing [平]の ouei であれば“する”を意味し、k'ü<sup>sic</sup> [去]で ouei と読めば“～ために”を意味する。例えば「惡」ngö “悪い”は ge [入]であるが、「惡」が ou ならば“憎む”、「惡」が ou ならば疑問詞である。例えば「與」が yu ならば分詞であり、「與」が yu ならば“与える”、「與」が yu なら“参加する”である。人によっては同じ字が名詞から動詞になると声調を変え、「王」wáng “王”と「王」wáng “統治する”のように。

#### 第二パラグラフ：中国語の発音について<sup>17</sup>

<sup>15</sup> 英訳では「声調と気音を与える」という語が続く。

<sup>16</sup> 英訳では「突然短く切られ」という語が付される。

<sup>17</sup> 以下の導入部の本文は結論を除き英訳本にない。この後以下に示す注記があり、改行されて結論が訳され、英訳本独自の同音字表に入る。以下は英文による注記の訳。

「英語のアルファベットで中国語の音を表す際、それらを正しく発音するために学習者

中国語の音をヨーロッパの文字で記し、上手に発音するために以下を追記しよう。第一に初めの要素に関して。第二に真ん中の要素に関して。第三に語末に関して。

#### 第一の瑣記：語頭について

一般的に声母は ch, tch, f, g, j, h, y, i, l, m, n, ng, p, s, ts, v, ou が数えられる。<sup>18</sup>たいていの場合声母からしてフランス語の正書法を用いるが、現在活動している宣教師たちのためである。私が簡単に説明することはフランス語の正書法を用いてなので、他の言語の正書法とは異なる。

主要な注記は三つある。第一にフランス語では ch、スペイン語では x で書かれる。従って chā と xā は同じである。第二にフランス語の tch、スペイン語とポルトガル語では ch である。従って tchā と chā は同じである。第三にはフランス語の ts、他の言語の ç も同じである。故に tsā と çā は同じである。フランスの言語と発音を無視して、この三点をよく記憶することなく、私のこの小品を読もうとするならば簡単に誤解してしまうであろう。

声母についての次の注記は、五つの有気音 k', p', t', tch, ts を正しく発音するということだ。こうした有気音は、母語にはそれを持たぬフランス人には特によく見落とされている。最も重要なのは宣教師たちが声母の習い始めから有気音に慣れるということだ。有気音や、聞いた他の音についても知覚できるよう正しく有気音を発音できるようになること。その境界線としては「止 tchi “止まる”と「齒 t'chi “歯”」、「波 pō “波”と「破 p'ō “ガラス”」、「幹 kán “幹”と「看 k'an “見る”」、「尊 tsūn “敬う”と「村 t'sūn “村”」、「迪 tī “励ます”と「惕 t'ī “恐れる”」などがある。単なる気音の差からであっても全く異なってしまうということを見落とし、聞き取っていないことが分かるであろう。

h は疑いなく有気音であるが、よくよく気を付けて欲しいのは k と混同してはならないということだ。y, hi, ki, kī のこの四種は全く違う。

ng があるとき、つまり ngo, ngai, ngan は覆うように nego, negai などのように発音する。どの子音もはっきり発音されねばならないが、g は h よりいっぴり強く感じられる。Ngai, ngan は中国人がいうのを聞き取ったその通りに発音すること。もし ng の後ろに e が後続し h が挿入されたならば、イタリア語でよくやるように、その音を硬くして nghe, ngen を保つ。残りの声母については何も言うべきことは起こらない。

中国人自身の間でもある子音に関しては一致しない。第一に多くの人々が ch の代わりに s を発音する。chai の代わりに sai のように。逆に s の代わりに ch もある。sou に対して chou のように。第二に多くの人々は tch を柔らかくして、例えば tchai の代わりに tsai などと言う。第三に、子音 v と j を発音する人がいる。例えば vang と jang のように。また ouang と jang のように言う人もいる。

は音が示されている語頭、語中、語末の文字に特に注意をむけられたい。\*広く通用する方言において起こるさまざまな音は以下の同音字表に示されている。

\*原著者によって配置された、西洋のアルファベットによる、音を見出しとした以下の中国文字の同音字表は現代の学習者にとって適切でなく、またはほとんど役に立たないため、この翻訳においては省略するのが好都合であると思われる」

<sup>18</sup> k が抜けている。

## 第二の瑣記：語中音について

第一の注記は、中国語のすべての語<sup>19</sup>は単一の音節<sup>20</sup>で成り立っているということだ。即ち一つの誤った発音がすべてに影響せぬよう気を配るべきである。le-a-o などと言ってはならない。leao である。三つの音は荒々しく口から一息に発するようでなくてはならない。また、ki-e-ou と言ってはならず、一息で kieou なのである。

第二の注記は、フランス語の u が他国にとっては十分やっかいだと言うことである。ou という発音の時には私は常に ou と書く。一方で u と書く時は、その記号は我々フランス語の u を表す。ポルトガル語はその u の上にひとつ点を打ち、ou と読むことになっている u と区別する。また一つ i を加えて kiuen, tsiuen などと書くこともある。中国人は誰も tsi-u-en などとは言わず、一息に tsiuen という。しかし、yu, yun, kiun などといった音ではそこに確かに i があるように思われる。しかしそれでも分割されるべきではない。yu-e-n ではなく yuen と言うべきだ。

第三の注記は、語中音たる e は常に変形されるが、この点について私には、e に先行する i が、上手に柔らかく発音するために役立っていると思われる。正しくは yeou, hieou, kieou であって you, hiou, kiou とは大きく異なっている。そして e が現れて聞こえる時は yé-ou、hié-ou、kié-ou ではなく yeou, hieou, kieou などと読まれなければならない。

第四の注記は meou, neou, teou や他の音において、e の類が変形されるということだ。フランス語では mé-ou、té-ou ではなく me'-ou、te'-ou である。しかしこの e は mieou, tieou における e よりはよほどはっきり知覚される。同様に、ここでの e は普通すべて先行する i に飲み込まれてしまう。

第五の注記は、語中音において o' 自身はほとんど ou と同じになってしまうということが起こる。cho'a, tso'an のように。ko'ang と hoa ではある程度 o に聞こえる。他において私は常に ou と書く。つまり soüan, kouian, touian, など。私はこのようにして発音に慣れたのである。

## 第三の瑣記：語末について

u, e, i, o, o', ou, u' にはそれぞれ述べるべきところがある。A は第五声 V が記されていない限り短くなることは決してない。また適切な位置にあるとき以外にとりわけ粗くなることもない。E は常に明らかである。ke, su'e, ku'e はフランス語の après, cyprès またはラテン語の ceres, pes などを発音するときのように言う。つまりいつでも男性的ではっきりしている。ye, kie, nu'e などはラテン語の fortè, dicere, maxime などのように言い、sse'e', tse'e', che' などのようにいつでも女性的で変化する。

i に関して。第一に y, hi, ki, li などの音には二種類あるということだ。しかし中国の声調を知ろうという人は、私が言葉で説明するよりも耳で感じ取った方がよほど良い。第五声 lī, kī, nū などには他の音、つまりひとつ e を加えて liē, kiē, nuē などに変えるのである。しかし、そうした e は聞こえてはならず、発声されることもない。即ち誤って与えたもの

<sup>19</sup> vox。以下「語」と訳す。

<sup>20</sup> syllaba。以下「音節」と訳す。

であり、省略されてもよい。第二に、私は fei, hoei, kouei, choui といった音の中の i は本質的に異なっているとはあえて主張しない。多くの場合、i は語末に運ばれると e に変わると考える。fei の代わりに feë, hoei の代わりに hoëe など。同様に、しばしば ho よりも hou と書く方がよく、koei より kouei というほうがよいときもある。しかし同様な soui, toui, choui において i の代わりに e が現れることは決してない。中国語をよく聞き、耳で話すがよい。第三に、hai, pai, lai といった音において、語が音 i で終わるときは e のように発音する。例えば lae [來] “私は来た”である。その時 a は多くの場合知覚されるが e はそうでもなく、また決して i ではない。しかしもし他の語が後続すれば i は再び現れる。例えば lai leao [來了] “彼は来た”である。第四の注記は、yai, hiai, kiai において、a は先行する i ではなく後続する i と結合させねばならない。kia-i ではなく ki-ai であり、かつ一音節であって二音節ではない。

O はたいていは長い、特に第一声のときは長い。tō は常に toō のようにいう。hao, kao のように a が先行するときはフランス人が haurire, causa を読むときのように聞こえてはならない。au は o で終わっているが、ノルマン人が haut “高い” や causer “おしゃべりする” を言うときのように、またはラテン語で haurio, caute などというときのように、a は知覚され読まれねばならない。

O は ou とほとんど違わないが、第五声の oū は違う。ポルトガル語は oū と書かないが、そういう習慣がないことと、ある位置では本当に o と読み、他の多くの位置では ou と読むからである。o と書くのはこうして o と区別するためであり、まさに全体的に雰囲気異なるのだ。例えば「叔」chō あるいは xō “叔父”、または「勺」chō あるいは xō “スプーン” などである。

多くの国では u を ou のように言うので、pu, mu, nu と書いても我々フランス語の pou, mou, nou などのようではない。彼らが欠いているフランス語の u に出会ったならば、彼らは点を加えて çiu のように書く。<sup>21</sup>もし çu, tsu と書いたらその時は tsou と読んでしまうからである。niu 自身は niou であり、niū ではない。

語末のフランス語の u について、北京の中国人自身が主として ou と言ひ、chu の代わりに chou, <sup>˙</sup>chū の代わりに tchou と言うのである。適切な字においてはひとつの変化した e を加えることができ、su, tsu の代わりに sūë, tsūë と書くことができる。その声調を通して学ぶがよい。

末尾の n はラテン語でやるように発音する。an est domi? en adest, in altro など。故にフランス人は中国語の mien, tien, sien を母国語で mien “私の” tien “あなたの” sien “彼の” のようには言わない、ということに気づかれない。en も in を言うときのように発音してはならない。例えば chemin “道” のように min を読んではいならない。gen ではなく gin と言うことになっている。ノルマン人が話すときは中国人のように発音する。du vin “ワイン”、matin “朝” のように。しかしパリの人は、vin, matain と書くかも知れないが、発声の際に du vain, matain とは言わない。同様に、n は後続する音とつなげて、nan yen の代わりに na nien のように、発音してはならない。feu, geu, keu などといった音では、e が ke, he などのように開いているように思われる。poüon, loüon, moüon などと表記するのは全

<sup>21</sup> 「点」は原文 punctum。この例では点ではなく i を加えているようである。

く無意味である。なぜならその音は poüan, loüan, mouän とほとんど区別がないからだ。poüan, mouän, hoüan よりも pan, man, han と読んだ方がよいと思われる字もある。そして同様に、ある字については mouën, pouën, ouën ではなく men, pen, ven と読まねばならない。しかし ouen, hoen, kouen, tchouen が ouan, kouan, tchouan と全く違うのかどうかは疑わしい。これに関しては多くが最初の一年目に獲得した習慣による。

末尾の ng はポルトガル語で m に書かれる。例えば tam 「堂」、sem 「主」である。スペイン語では tang, seng と書く。tam をラテン語の tam bonus、sem を Noe genuit Sèm<sup>22</sup> のように読まないフランス人はいない。そのためスペイン語で ng と書くのに合わせて tang, seng とする。そして n の後ろにはあらゆる他の子音を置くことができ、その音を形成するということを知るべきだ。ng の g は決して発音してはならない。音節が柔らかく、かなり長くなるのを示すだけなのだ。そこで long はフランス語の long “長い” のように発音される。また fong はラテン語の dives aquae fons のようにではなくフランス語の les fonds de baptême のように発音される。ming はフランス語で les chemins のようであるが、ノルマン語の発音の方がよい。fang は les enfans “子供” のようである。

上述の諸点から、不完全ながら中国語からラテン語語彙を創造したい。vou vang [武王] に代えて vouvangum とし、tching tang<sup>23</sup> [成湯] に代えて tchingtangum とし、tang [唐], song [宋], ming [明] という王朝名をラテン語で暫時 Tanganos, Songanos, Minganos とよび、この方法で koei chin [歸神] を koueichines、chang ti [上帝] を chantitum と表す。

語末の l が残っているが、この発音は説明するのが難しい。ポルトガル人は lh、スペイン人は ll と書いていて、その他は ull と書いている。私はむしろ eull と書くことにする。中国人に聞くことが大切だ。

### 第三節：附録

この附録において私は中国語の全音節の目録を作成した。始めから終わりまで我々のアルファベット順に近似して配列することができた。しかし韻に従ってそれらを配した方がより役に立つと考え、そこですべての部分においてアルファベット順の韻ごとに使えるようにした。

すべての字の末尾によって 9 つの部に分け、どの部においても音による境界は脇に注記した。

#### 中国語の全音節 網羅的一覧表<sup>24</sup>

<sup>22</sup> それぞれ「とても良い」「ノアはセムを生んだ」。後者の出典は旧約聖書創世記 5:30-32。

<sup>23</sup> この段落のローマ字表記は気音が付されていないようである。

<sup>24</sup> 見出し漢字の訳にはラテン語の他にイタリック体のフランス語も加えられている箇所がある。同じ意味を表している場合には重複して訳すことはしない。

第一群			tsà	「咱」	わたし「家咱」
1. a			tsǎ	「啞」	舐めつくす
chā	「沙」	砂利	t'sǎ	「擦」	摩擦する、こす
chà	「洒」	まきちらす	る		
chá	「嘎」	声を改める時の	t'ā	「他」	彼、もう片方
音			tà	「打」	打つ
chǎ	「殺」	殺す	tá	「大」	大きい
tchā	「渣」	沈殿物(滓)	tǎ	「答」	こたえる
t'chā	「差」	ことなる	t'ǎ	「獺」	海狸
t'chā	「杳」	探し求めるÉ	2. ya		
t'chà	「槎」	切断された木	yā	「丫」	さすまた
tchá	「詐」	あざむく	yā	「牙」	歯
t'chá	「託」	予言する	yà	「雅」	美しい
tchǎ	「札」	手紙	yá	「亞」	二番目の、その
t'chǎ	「察」	ためす	中の一つ		
fǎ	「法」	わざ、模倣する	yǎ	「厭」	苦しめる
hà	「哈」	笑うときの声	hiā	「鰕」	えび
lǎ	「拉」	ひく	hiá	「遐」	離れた
mā	「麻」	麻	hià	「下」	くだる
mà	「馬」	馬	hiá	「下」	～の下に
má	「罵」	ののしる	hiǎ	「瞎」	めしいた
mǎ	「抹」 <sup>25</sup>	抹殺する	kiā	「加」	くわえる
nā	「拿」	手でもつ	k'īā	「伽」	偶像の一種
nà	「那」	疑問詞	kià	「假」	にせの
ná	「那」	あれ	k'ìà	「髀」	腰の骨
nǎ	「捺」	手で押さえつけ	kiá	「稼」	植える
る			kiǎ	「甲」	甲冑、爪
pā	「芭」	ビワ	k'īǎ	「恰」	ちょうど
p'ā	「葩」	優美さ、花	3. oua		
p'à	「爬」	這う	ouā	「蛙」 <sup>26</sup>	カエル
pà	「把」	取る	ouà	「瓦」	かわら
pá	「罷」	十分だ	ouá	「嗷」	悲しむ少年
p'á	「怕」	おそれる	ouǎ	「襪」	くつした
pǎ	「八」	8	hoā	「花」	花
p'ǎ	「汧」	潮騒	hoā	「華」	美しく思われる
sǎ	「薩」	偶像、菩薩	もの		
tsā	「嗟」	ああ! 嘆きのし	hoà	「解」 <sup>27</sup>	羊の角
るし					

<sup>25</sup> 「抹」の誤であろう。

<sup>26</sup> 本来は「蛙」であろう。

<sup>27</sup> 「𠂔」の誤か。

hoá	「話」	ことば	は t'chí)		
hoǎ	「滑」	つるつるの、滑	gè	「菘」	ひきおこす
りやすい			gě	「日」	日、太陽
kouā	「瓜」	ウリ	hě	「黒」	黒い
k'ouā	「誇」	自慢する	kě	「革」	皮革
kouà	「寡」	少し	k'ě	「客」	賓客
k'ouà	「髀」	腰の骨	lě	「肋」	肋骨
kouá	「卦」	『易經』の記号	mě	「墨」	インク
k'ouá	「跨」 <sup>28</sup>	登る	ngǎ	「額」	ひたい
koüa	「刮」	剃る	pě	「白」	しろい
chouà	「耍」	遊ぶ、ふざける	pě	「拍」	拍手する
choüa	「刷」	刷毛	sě	「虱」	シラミ
tchoüa	「搗」	馬の鞭	sseē	「私」	私有物
第二群			ssèē	「死」	死
1. e			sséē	「四」	4
chē	「奢」	ぜいたくな	tsě	「擇」	えらぶ
chê	「蛇」	へび	t'sě	「測」	理解する
chè	「捨」	なげやる	tseē	「髭」	ひげ
ché	「赦」	ゆるす	tseè	「子」	息子
chě	「舌」	舌	tseé	「字」	中国文字
chē	「師」	先生 (または	t'seē	「雌」	鳥のメス
sseē)			t'sê	「慈」	恵み深い
chê	「時」	時間 (または	t'seè	「此」	これ
chî)			t'seé	「次」	順序、連続
chè	「屎」	糞 (または chí)	tě	「徳」	美德
ché	「是」	～である (また	t'ě	「忒」	誤り、罪
は chí)			yê <sup>29</sup>	「爺」	父
chě	「室」	家 (または chí)	yè	「野」	荒野
tchē	「遮」	覆い被せる	yé	「夜」	夜
t'chē	「車」	戦車	yě	「葉」	葉
tchè	「者」	文法上の助詞	hiě	「蝸」	サソリ
t'chè	「扯」	手で引く	kiě	「竭」	なくなる
tché	「這」	これ	k'iě	「怯」	臆病な
tchě	「折」	たたむ、挽く	liě	「列」	整える
t'chě	「徹」	貫く	miě	「滅」	ほろびる
tchě	「直」	まっすぐな (ま	niě	「藥」 <sup>30</sup>	双子の上の方
たは <sup>sic</sup> chí)					
t'chě	「尺」	足、測定 (また			

<sup>28</sup> 「跨」の誤か。

<sup>29</sup> ここから 2.ie が始まるはずだが抜けている。

<sup>30</sup> 発音からすると「孽」であろうがその意



piě	「別」	別れた	tchī	「知」	知る
p'ïě	「撇」	軽く打つ	tchì	「止」	止まる
siē	「些」	過小に	tchí	「治」	統治する
siê	「邪」	不正な	t'chī	「痴」	おろかな
siè	「寫」	書く	t'chí	「池」	池、たまり水
sié	「謝」	感謝する	t'chi	「齒」	齒
siě	「泄」または「洩」	溶けて	t'chí	「翅」	翼
なくなる			ī	「衣」	衣服
tsiē	「嗟」	嘆息する	ÿ	「移」	変える
tsiè	「姐」	姉	ÿ	「倚」	よりかかる
tsié	「借」	借用する	ÿ	「義」	正義
tsě	「節」	節度	ÿ	「益」	加える
tiě	「蝶」	蝶	hī	「稀」	まれな、少ない
t'ie	「帖」	名刺	hî	「奚」	疑問詞
3. oue <sup>31</sup>			hì	「喜」	よろこぶ
choue	「説」	言う	hí	「戲」	喜劇、遊ぶ
tchouě	「輟」	中止する	hǐ	「隙」	穴、裂け目
kouě	「國」	王国	kī	「基」	基礎
ouě	「物」	もの。または	kì	「紀」	年
ouō, ouǔ.			kí	「記」	記録する
foě	「弗」	～でない	kǐ	「吉」	よい
hoě	「或」	あるいは、又は	k'ī	「溪」	水の流れ
4. yue			k'í	「奇」	奇跡の、稀な
yuě	「月」	月	k'ì	「起」	おこす
hiuě	「血」	血	k'í	「棄」	投げやる
kuě	「決」	絶対に、きっと	k'ǐ	「乞」	求める
k'üě	「歛」	尽きる	lī	「離」	別れる、分かつ
suě	「雪」	雪	lì	「李」	すもも
tsuě	「絶」	止める	lí	「利」	収益、鋭い
第三群			lǐ	「力」	力
1. i			mī	「眉」	眉
chī	「詩」	詩	mì	「米」	脱穀された稻
chî	「匙」	鍵	mì	「謎」	謎
chì	「始」	はじまり	mǐ	「密」	沈黙
chí	「勢」	性質、能力	nī	「泥」	泥
			nì	「你」	あなた
			ní	「膩」	肥満
			nǐ	「逆」	反対の
			pī	「卑」	価値のない、卑

味は「庶子」である。ラテン語の意味からすれば「孿」だろうがその発音は luán (現代音) である。

<sup>31</sup> 本来は「輟」から 3. が始まっている。改めた。

## しい

pì	「比」	比較する
pí	「閉」	とじる
pǐ	「鼻」	鼻
p'ī	「批」	意見、検閲
p'ì	「脾」	胃
p'ì	「痞」	ごろつき
p'í	「臂」	比較する
p'ǐ	「匹」	夫婦
sī	「西」	西
sì	「洗」	洗う
sí	「細」	繊細な
sǐ	「夕」	おそく
tsī	「躋」	のぼる
tsì	「擠」	おさえつける
tsí	「祭」	提供する
tsǐ	「疾」	病気、速く
t'sī	「妻」	妻
t'sì	「齊」	同年配の、平ら

## な

t'sí	「砌」	壁を作る
t'sǐ	「七」	7
tī	「低」	低い、高くない
tì	「底」	底
tí	「地」	大地
tǐ	「迪」	励ます、真っ直

## ぐにする

t'ī	「梯」	はしご
t'í	「題」	主題
t'ì	「體」	実質、体
t'í	「剃」	削る、剃る
t'ǐ	「惕」	おそれる

## 2.

ai		
chāi	「篩」	篩
chài	「灑」	注ぐ
chái	「殺」	相違
tchāi	「齋」	断食
tchái	「債」	債務
t'chāi	「差」	派遣
t'chái	「柴」	火を付けるため

## の木材

t'chài	「蹴」	足で踏む
t'chái	「嘍」	夢中で食べる
hāi	「噎」	笑われる
hāi	「孩」	小児
hài	「海」	海
hái	「害」	害を受ける
kāi	「該」	～ねばならない
k'ai	「開」	開ける
kài	「改」	変える
k'ai	「愷」	楽しむ
kái	「漑」	水を導く
lāi	「來」	来る
lài	「攪」 <sup>32</sup>	ある種の小人族
lái	「賴」	よりかかる
māi	「埋」	埋める
mài	「買」	買う
mái	「賣」	売る
nāi	「脫」	乳
nài	「妳」	乳房
nái	「耐」	耐える
ngāi	「藹」	愛らしい
ngái	「愛」	愛する
pài	「排」	配分する
pái	「拜」	挨拶する
p'ai	「牌」	薄板、しるし
p'ai	「摯」 <sup>33</sup>	どれほど？
p'ai	「派」	川の分流
sāi	「腮」	頬
sái	「賽」	返す
tsāi	「災」	わざわい
tsài	「宰」	判定者、主人
tsái	「在」	いる、存在する
t'sāi	「財」	富裕
t'sài	「采」	色

<sup>32</sup> 字の意味は「毀つ」である。ラテン語「小人族 (Pygmaei)」に近い意味を探せば「俵 (小使い) であろうか。

<sup>33</sup> 意味は「分ける」であってラテン語の解釈と合わない。

t'sái	「菜」	食べられる草	fèi	「斐」	道徳的に優れた
tāi	「獸」	未熟な、未知の	fēi	「肺」	肺
tài	「歹」	わるい	oūei	「煨」	灰に埋めて熱す
tái	「代」	別の場所	る		
t'āi	「胎」	妊娠している	oūei	「惟」	ただ、思う
t'āi	「臺」	築山	oūei	「唯」	賛同する
t'ài	「畜」	非常に太った	oúei	「位」	座席、人
t'ái	「太」	大きな	hoēi	「灰」	灰
vaī	「歪」	正しくない	hoēi	「回」	回る
vái	「外」	外に	hoèi	「悔」	後悔させる
3. ouai			hoéi	「誨」	人を教える
chouai	「摔」 <sup>34</sup>	より早く進む人	koūei	「規」	コンパス
chouai	「帥」	軍の指揮官	kouèi	「鬼」	霊
hoái <sup>35</sup>	「懷」	ポケットに持つ	kóuei	「貴」	高価な
hoài	「壞」	取り壊す	k'oūei	「盃」	かぶと
koūai	「乖」	反駁する	k'oūei	「揆」	推測する
kouài	「拐」	力で奪う	k'ouèi	「跪」	膝をかがめる
kouai	「怪」	奇異	k'ouéi	「喟」	嘆息する
k'ouai	「快」	楽しむ	moēi	「媒」	花婿の付添人
4. yai			moèi	「美」	美しい
yāi	「厓」	岸、浜	moéi	「妹」	妹
yāi	「崖」	崖	poēi	「悲」	同情する
yài	「矮」	身長がとても低	poèi	「俾」	～させる
い			poéi	「貝」	貝
yái	「隘」	狭い、隘路	p'oēi	「丕」	大きい、与える
hiài	「諧」	調和する	p'oēi	「培」	耕す、育成する
hiài	「蟹」	蟹	p'oēi	「配」	仲間、婚約者
hiái	「懈」	なまけた	6. uei		
kiāi	「皆」	すべての	juēi	「隄」	花が垂れ下がっ
k'iāi	「揩」	ふきとる	ている		
kiài	「解」	説明する	juèi	「藁」	まだ開いていな
k'iài	「楷」	形、方法	い花		
kiái	「誡」	訓戒	juéi	「睿」	非常に慧敏な
5. ei			luèi	「雷」	雷
fēi	「非」	～でない、非難	luèi	「壘」	積み重ねる
する			luéi	「類」	種類
fèi	「肥」	太った	nuèi	「餒」	飢え
			nuéi	「内」	内側に
			7. oui		
			chouī	「誰」	だれ?

<sup>34</sup> 「率」の方が適切であろう。

<sup>35</sup> 声調が次の「壞」と入れ替わっている。

	chòuì	「水」	水	つくりと		
	chóuì	「睡」	眠る	jǒ	「弱」	虚弱な
	tchouī	「追」	人の後から行く	hō	「呵」(「打」 tà)	あくびす
	tchouì	「箠」	杖、革の鞭	る		
	tchouì	「墜」	倒れる	hō	「和」	協調する
	t'choūi	「炊」	火にむかって吹	hò	「火」	火
く				hó	「貨」	商品、貨物
	t'choūi	「槌」	槌	hǒ	「合」	結合する
	t'choúì	「吹」	笛を吹く	kō	「哥」	兄
	ouì	「微」	微細な	kò	「果」	はたして、果実
	ouì	「尾」	しっぽ	kó	「个」(y <sup>v</sup> —)	ひとつの
	ouí	「味」	味	kō	「各」	おのおの
は <sup>s i c</sup> ouéi				k'ō	「窠」	鳥の巢
	soūi	「雖」	~にかかわらず、	k'ò	「可」	適する、ふさわ
たとえ~であつても				しい		
	soūi	「隨」	ついていく、従	k'ó	「□」 <sup>37</sup>	折り
う				k'ō	「渴」	渴いている
	soúì	「髓」	骨の髓	lō	「羅」	網
	soúì	「碎」	小さい物	lò	「裸」	裸
	tsoūi	「摧」	堆積する	ló	「稞」	堆積
	tsoúì	「嘴」	口、唇	lǒ	「落」	落ちる、陥る
	tsoúì	「罪」	罪	mō	「摩」	なでる、触れる
	t'souī	「摧」 <sup>36</sup>	活発だ、かりた	mò	「麼」	疑問詞
てる				mó	「磨」	臼で挽く
	t'souì	「嶂」	高い山をいう	mǒ	「末」	木の末端
	t'souí	「啐」	あじわう	nō	「儼」	魅惑的な、やわ
	toūi	「堆」	堆積	らかい		
	toúì	「愞」	憎む	nò	「綁」(「婀」ò)	美しい
	t'ouī	「推」	拒絶する	nó	「懦」	無力な
	toúì	「對」	対して	nǒ	「諾」	賛同する語
	t'ouī	「隕」	倒れる、取り壊	ngō	「鵝」	ガチョウ
す				ngò	「我」	わたし
	t'ouí	「退」	退却する	ngó	「餓」	飢えている
第四群				ngǒ	「罈」	タンバリンを奏
1. o				する		
	chǒ	「杓」または「勺」	さじ	ō	「猗猗」	美しいさまをい
	tchǒ	「桌」	テーブル	う		
	t'chǒ	「綽」	寛大である、ゆ	ō	「曷」	おさえつける、

36 「摧」の誤であろう。

37 言偏に「顛」。

支配する			cháo	「紹」	結ぶ
pō	「波」	波	tchao	「招」	手で招く
pò	「跛」	びっこの	tchào	「爪」	動物の爪
pó	「播」	広める	tcháo	「召」	呼ぶ語
pǒ	「薄」	濃くない	t'chāo	「超」	こえる
p'ō	「玻」	ガラス	t'chāo	「潮」	海の満ち引き
p'ô	「婆」	妻	t'chào	「炒」	あぶる
p'ò	「頗」	非常に、多い	t'cháo	「鈔」	貨幣
p'ó	「破」	取り壊す	jaô	「饒」	赦す
p'ö	「撥」	音を発する、開	jaò	「擾」	騒ぐ
ける			jáo	「繞」	周りを囲む
sō	「唆」(「哄」 hong)	だます	hāo	「蒿」	よもぎ
sò	「所」	場所、～すると	hào	「豪」	イノシシ
ころの			hào	「好」	よい
só	「些」	過小に(俗語で	háo	「好」 <sup>38</sup>	愛する
は siē)			kāo	「高」 <sup>39</sup>	高い
sǒ	「索」	綱	k'āo	「尻」	背中の終わり部
tsò	「左」	左の	分		
tsó	「做」	する	kào	「考」	試験する
tsǒ	「作」	行う	k'ào	「杲」	明るい、明瞭な
t'sō	「磋」	みがく、なめら	káo	「告」	つげる
かにする			k'áo	「靠」	よりかかる
t'sô	「瘞」	軽い病気	laô	「勞」	働く、功績
t'sò	「嗟」	歯を見せて笑う	lào	「老」	老人
t'só	「剝」	やすり	maō	「毛」	柔毛
t'sǒ	「錯」	誤る	mào	「卯」	朝の6番目の時
tō	「多」	多い、多く	間帯		
tò	「朶」	花束、花輪	máo	「貌」	美
tó	「惰」	怠惰な	naô	「撓」	こする
tǒ	「鐸」	小さい鐘	naò	「腦」	脳
t'ō	「拖」	引下げる、引く	náo	「鬧」	大音をたてる
t'ô	「駝」	ラクダ	ngāo	「麤」	勇敢に戦う
t'ò	「掞」	出っ張り、白い	ngáo	「遨」	暇である、歩き
t'ó	「唾」	唾、唾を吐く	回る		
t'ö	「脱」	解く、脱ぐ	ngào	「襖」	二重になった衣

2.

ao		
chao	「燒」	焼く
chāo	「詔」	和する語
chào	「少」	少ない、不足す

る

<sup>38</sup> 完全な○ではないが、漢字の右上に圈点らしきものが認められるので去声の印として付した。

<sup>39</sup> 「尻」「高」が入れ替わっていたため改めた。

服			k'iao	「敲」	たたく、鞭うつ
ngáo	「傲」	傲慢な	k'iao	「喬」	高い
pào	「飽」	満ち足りた	k'iao	「巧」	巧妙に
pāo	「包」	つつむ	k'iao	「竅」	穴
páo	「抱」	抱く	miào	「猫」	ネコ
p'āo	「胞」	膀胱	miao	「秒」	微小なもの
p'āo	「砲」	砲弾	miào	「妙」	奇妙な
sāo	「騷」	悲しい	niào	「尿」	小尿
sáo	「燥」	旱魃の	piào	「標」	記号、注意を惹
tsāo	「遭」	不幸にあう、偶	く		
然おこる			piào	「表」	時計の一種
tsào	「早」	早く	piào	「掬」	しっかり結ぶ
tsáo	「造」	作る	p'iao	「飄」	風によって不断
t'sāo	「操」	取る、～の上に	に動かされる		
いる			p'iao	「瓢」	コップ、さじ
t'sao	「嘈」	騒ぎを作り出す	p'iao	「殍」	暴行された死体
t'sào	「草」	草	p'iao	「曝」	天日で乾かす
t'sáo	「慥」	まことに誠実な	siào	「硝」	硝石
tāo	「刀」	劍	siao	「小」	小さい
taò	「島」	島	siao	「笑」	わらう
taó	「道」	道、道理、論説	tsiao	「焦」	焦がす、あぶる
t'ao	「叨」	欲する	tsao	「勦」	取り壊す、絶滅
t'ao	「桃」	モモ	する		
t'ao	「討」	罰する	t'siao	「鏊」	農機具
t'ao	「套」	覆い	t'siao	「焯」 <sup>40</sup>	ひそかに
leaò	「遼」	遠くを巡回する	t'siao	「瞧」	見る
leaó	「療」	病を癒す	t'siao	「峭」	高い山
3. yao			tiao	「刁」	偽りの、欺瞞者
<sup>sic</sup> yao	「腰」	腰	tiao	「弔」	ひどく苦痛を感
yaó	「堯」	きわめて秀でた	じる		
yaò	「咬」	かむ	t'iao	「挑」	肩に担ぐ
yáo	「要」	必要である、欲	t'iao	「條」	木
する			t'iao	「詭」	誘惑する言葉
hiào	「哮」	鳴り響く怒りの	t'iao	「跳」	踊る
声			<sup>sic</sup> 3. yo		
hiào	「曉」	知る	yò	「樂」	音楽
hiáo	「孝」	孝行	hiò	「學」	学ぶ
kiào	「交」	結合される	kiò	「脚」	足
kiaò	「皎」	月が輝く			
<sup>sic</sup> kioá	「教」	法			

40 「悄」の誤であろう。

	k'io	「確」	かたく、確かな	第六群			
	liö	「略」	しばらく	l. ou			
	niö	「虐」	残酷な	foü	「敷」	公に知らせる	
	siö	「削」	伐る	foü	「扶」	助ける、支える	
	tsiö	「鵠」	カササギ	foü	「撫」	こびへつらう、	
	t'io	「爵」	盃、職務	触れる			
4. sic	ouo			foú	「父」	父	
	ouö	「窩」	巢、墓	hoü	「呼」	息を吐く	
	ouö	「幹」	～の周りを転が	hoü	「壺」	ワインの壺	
す				höu	「虎」	虎	
	houö	「賀」	いわう	koü	「孤」	孤児	
	kouö	「鍋」	なべ	koü	「古」	以前	
	koüo	「過」	すぎる	koü	「故」	原因	
	koüo	「郭」	外の壁	k'ou	「枯」	乾燥した木	
	k'ouö	「闊」	十分な	k'ou	「苦」	にがい	
第五群				k'ou	「庫」	貨幣の	
	chö	「叔」	伯父	loü	「廬」	暖炉	
	tchou	「竹」	葦、竹	lòu	「魯」	愚鈍な、愚かな	
	t'chö	「觸」	角で襲う	moü	「摸」または「模」	形	
	foü	「福」	幸福	moü	「母」	母	
	jö	「辱」	不正、侮辱	moü	「墓」	墓	
	hö	「忽」	ささいなもの	noü	「奴」	奴隸、	
	koü	「骨」	骨	noü	「弩」	弓、弩	
	k'ou	「哭」	悲嘆する	noü	「怒」	怒り	
	loü	「六」	6	ngoü	「吾」	私は、私の	
	moü	「目」	目	oü	「烏」	カラス	
	nö	「惡」	恥	oü	「惡」	憎む	
	poü	「不」	～でない	ou	「誤」	だまされる	
	p'ö	「勃」	挙行する、尊敬	poü	「哺」	乳を吸う	
する				poü	「圃」	庭園	
	soü	「粟」	穀物の粒	poü	「捕」	取る、天幕	
	tsoü	「足」	足	p'ou	「匍」	地面を這う	
	t'sö	「數」	密な	p'ou	「浦」	川の支流	
	toü	「讀」	読む	p'ou	「舗」	食堂	
	t'ö	「禿」	禿の	soü	「穌」	復活する。「甦」	
	yoü	「育」	人を養育する	も同じ			
	hiö	「畜」	飼育する	soü	「數」	かぞえる	
	kioü	「菊」	秋の花	soü	「數」	数字	
	k'ioü	「曲」	まっすぐでない	tsoü	「租」	貸し出す	
	ouö	「沃」	水を導く	tsoü	「祖」	先祖	

tsoú	「助」	助ける	keoù	「狗」	犬
t'soū	「初」	初め	k'eoū	「搗」	取り除く、空に
t'soū	「鋤」	手斧	する		
t'soù	「楚」	傷害を負う、苦	k'eoù	「搗」	衣服を目立たせ
しむ			る		
t'souú	「醋」	酢	k'eoú	「口」	人の口
toū	「都」	すべての、宮廷	leoú	「樓」	高い建物
toù	「睹」	あるいは「覲」	leoù	「樓」	巻き付ける
toú	「肚」	腹	leoú	「陋」	つまらぬ
t'ouú	「徒」	生徒	meoù	「謀」	相談する
t'ouù	「土」	地、泥	meoù	「牡」	オス（牛の）
t'ouú	「兎」	ウサギ	meouú	「茂」	密集した、花咲
voū	「無」	何もない	く		
voù	「武」	戦士	neouú	「耨」	耕す
voú	「務」	没頭する	ngheou	「甌」	小さい皿
2. eou			ngheou	「齶」 <sup>41</sup>	ふぞろいの歯
cheou	「叔」	取り入れる	ngheou	「偶」	たくさんの部分
cheou	「手」	手	部分		
cheou	「受」	受けとる 「授」	ngheou	「口」 <sup>42</sup>	もろくする、分
は手渡す			離する		
tcheou	「舟」	船	p'eoū	「呖」	飲み込む
tcheou	「帚」	ほうき	p'eoú	「衰」 <sup>43</sup>	～から取り除く
tcheou	「晝」	日中	p'eoù	「剖」	切り離す
t'cheou	「抽」	引き出す	seou	「搜」 <sup>44</sup>	探し求める、く
tcheou	「稠」	密な	まなく捜す		
tcheou	「醜」	醜い	seou	「藪」	おおきな池
tcheou	「臭」	悪臭	seou	「瘦」	やせた
feou	「浮」	浮く	tseou	「陬」	角
feou	「否」	～でない	tseou	「走」	歩く
feou	「覆」	おおう	tseou	「奏」	皇帝に応答する
jeou	「柔」	やわらかい、従	t'seou	「搗」	手を貸す、助け
順な			る		
jeou	「揉」	やわらかくする	t'seou	「愁」	憂鬱な
jeou	「揉」	指揮する	t'seou	「湊」	一杯になるまで
heou	「躄」	いびきをかく	足す		
heou	「喉」	のど			
heou	「吼」	叫ぶ、(虎のよう			
に)					
heou	「後」	～の後ろに			
keou	「鉤」	鉤、留め金			

41 「齶」の誤であろう。

42 「𠂔」に「區」。

43 「衰」の誤であろう。

44 「搜」の誤であろう。



teoū	「兜」	兜	t'sieóu	「贅」	穴を掘る
teoù	「斗」	一種の計量単位	tieōu	「丟」	なげやる
teóu	「豆」	ある種の容器	第七群		
t'eoū	「偷」	盗む	1. u		
t'eoū	「頭」	頭	chū	「書」	本、文字
t'eoù	「姪」	美しい少女	chù	「暑」	夏
t'eoú	「透」	よく浸透する	chú	「樹」	木
3. yeou			chǔ	「述」	述べる、伝える
yeōu	「幽」	淋しい、辺鄙な	tchū	「主」	主人
yeōu	「油」	油	tchú	「柱」	柱
yeoù	「友」	友人	tchǔ	「窟」	洞窟から出る
yeóu	「右」	右の	t'chū	「樞」	蝶番
hieōu	「休」	休息する	t'chû	「厨」	厨房
hieòu	「朽」	腐敗する	t'chú	「處」	場所
hieóu	「艘」	かぐ	t'chǔ	「出」	出る
kieōu	「鳩」	キジバト	jû	「如」	～のような、も
kieoù	「九」	9	しも		
k'ieōu	「丘」	丘	jù	「乳」	乳、乳を与える
k'ieóu	「救」	救う	jú	「孺」	幼児
k'ieoù	「求」	求める、問う	sū	「需」	望む
k'ieoù	「摸」	防ぐ	sû	「徐」	徐々に
lieoù	「留」	確保する	sù	「醋」	よいワイン
lieoù	「柳」	ヤナギ	sú	「序」	順番、序文
lieóu	「霽」	部屋の中央	sǔ	「恤」	同情する
mieōu	「繆」 <sup>45</sup>	固く結ぶ	tsū	「苴」	麻の一種
mieóu	「謬」	誤る	tsú	「聚」	多いこと、集め
nieōu	「牛」	牛	る		
nieoù	「紐」	結び目	t'sū	「趨」	走る
nieóu	「狃」	慣れた	t'sû	「取」	とる
pieōu	「彪」	虎の斑模様	t'sú	「娶」	娶る
sieōu	「修」	飾る、永遠の	2. yu		
sieoù	「滌」	稲を濡らす水	yū	「迂」	離れた、反対の
tsieōu	「攀」	取る	yû	「魚」	魚
tsieoù	「就」 <sup>s i c</sup>	続く、ただちに	yù	「雨」	雨
t'sieōu	「秋」	秋	yú	「雨」	雨が降る
t'sieōu	「囚」	投獄された人	yǔ	「域」	境界、世界
t'sieoù	「睽」	怒りをもって見	hiū	「虛」	空の
ること			hiù	「許」	許可する
			hiú	「酗」	ひどく酔った
			hiü	「閔」	孤独な

45 「繆」の誤であろう。

kiū	「居」	住む、無官であ	hán	「汗」	汗
る			kān	「甘」	あまい
kiù	「舉」	挙げる	k'ān	「刊」	切り離す
kiú	「懼」	恐れる	kàn	「敢」	あえて～する
kiü	「橋」	ダイダイの一種	k'àn	「坎」	穴、危険
k'iü	「軀」	人の体	kán	「幹」	幹
k'iu	「劬」	労働	k'án	「看」	見る
k'iu	「去」	追い払う	lân	「闌」	浪費する、終わ
k'iu	「去」	立ち去る	る		
k'iu	「屈」	縮める	làn	「嬾」	柔軟な、怠惰な
liü	「驢」	ロバ	lán	「爛」	腐敗する
liù	「侶」	仲間	mân	「蠻」	ある種の蛮族
liú	「慮」	よく考える	mán	「慢」	みだりに使う
li ü	「律」	規則、法	nân	「南」	冲天
niù	「女」	少女	nàn	「赧」	恥で赤面する
niú	「女」	娘を結婚させる	nán	「難」	むずかしい
第八群			ngān	「安」	確固とした、平
1. l			静		
eüll	「兒」	息子	ngàn	「闇」	暗黒
eüll	「耳」	耳	ngán	「按」	記録
eüll	「二」	2	pān	「班」	部隊、配備
2. an			p'ān	「攀」	上品に引き留め
chān	「山」	山	る		
chàn	「訕」	そしる	pàn	「版」あるいは「板」	板
t'chān	「攙」	立ち上がるよう	pán	「扮」	まとめる、表現
支える			する		
t'chān	「慚」	赤面する	p'àn	「盼」	見る
t'chàn	「産」	作る	sān	「衫」	婦人の肌着
t'chán	「讎」	～を後悔する	sàn	「傘」	傘
tchàn	「斬」	首を切る	sán	「散」	散乱させる
tchán	「賺」	もうける	tsān	「贄」 <sup>47</sup>	かんざし
fān	「番」 <sup>(y—)</sup>	同時に	tsàn	「拶」	拷問用の木製器
fān	「煩」	わずらわしい	具		
fàn	「反」	～に対して	tsán	「贄」	賞賛する
fán	「飯」	炊いた米	t'sān	「參」	等しい、同等の
hān	「酣」	酔っている	t'sān	「蠶」	蚕
hān	「寒」	さむい	t'sàn	「慘」	残酷な
hàn	「宇」 <sup>46</sup>	まれな、まれに	t'sán	「粲」	きわめて白い米

46 「罕」の誤であろう。

47 「簪」の誤であろう。

tān	「丹」	赤みがかった色	t'souān	「竄」	落とし穴にはま
tān <sup>sic</sup>	「談」	談判する			
tàn	「胆」	胆汁、勇氣	t'souân	「攢」	一つにまとめる
tán	「淡」	面白みのない	t'souán	「爨」	炉の火、暖炉
t'ān	「貪」	熱望する	touān	「端」	外側の、端
t'àn	「坦」	低い土地	touàn	「短」	短い、不十分な
t'án	「炭」	炭	touán	「斷」	切断する、分割
ván	「萬」	一万	する		
houān	「完」	完成する	t'ouān	「湍」	はやく流れる
hoān	「還」	引き返す	t'ouân	「團」	輪になる
houàn	「緩」	遅らせる	t'ouàn	「躡」	踏み固める
hoán	「患」	難儀	t'ouán	「彖」	ハリネズミ
kouān	「冠」	頭巾	3. en		
kouàn	「管」	注意を払う	chēn	「羶」	山羊のにおいが
kouán	「慣」	慣れる	する		
k'ouān	「寛」	寛大に	chēn	「塵」	食堂
k'ouán	「欸」	誠実に振る舞う	chèn	「閃」	そらす
louān	「鸞」	がらがら(玩具)	chén	「善」	よい
louàn	「卵」	卵	tchēn	「瞻」	下から見る
louán	「亂」	混乱している、	tchèn	「展」	ひもとく
支配する			tchén	「戰」	戦闘する
moúan	「瞞」	隠蔽する	t'chēn	「纏」	ひも、結ぶ
mòuan	「滿」	満ち足りた	t'chèn	「蟬」	セミ
móuan	「曼」	限界	t'chén	「諂」	取り入る
nouàn	「暖」	あたたかい	fēn	「分」	部分、分ける
nouán	「懦」	虚弱な	fèn	「墳」	墓
ouān	「剗」	隠す、刻む	fēn	「粉」	米の粉
ouán	「剗」	取り除く	fén	「糞」	糞
ouàn	「碗」	小さい酒杯	gēn	「髯」	ほおひげ
ouán	「玩」	遊ぶ、ふざける	gèn	「染」	染める、張る
pouān	「般」	方式	ngghēn	「恩」	恩寵
pouán	「伴」	仲間	hēn	「痕」	傷跡
p'ouān	「潘」	都市の名	hèn	「狠」	争い好きな
p'ouân	「盤」	皿	hén	「恨」	憎む
p'ouán	「判」	審判する	kēn	「根」	根
souān	「酸」	酸	k'èn	「懇」	切に求める
souán	「算」	かぞえる	kén	「良」	強い、確固とし
tsouān	「鑽」	穴を開ける	た、強固にする		
tsouàn	「篡」	利益を得る	k'én	「硯」	岩の出っ張り
tsouán	「鑽」	穴	mên	「門」	門

mén	「悶」	悲嘆	lièn	「臉」	顔
pēn	「奔」	走る	lién	「鍊」	火で清める
pèn	「本」	根、基本的な	mièn	「眠」	眠る
pén	「憊」 <sup>48</sup>	弱い	mièn	「勉」	努力する、魂を
p'én	「噴」	くしゃみする	加える		
sēn	「森」	たくさんの木に	mién	「面」	顔
ついでいう			nièn	「年」	年
tsēn	「藜」	茂った葉	nièn	「捺」	指で押さえる
t'sēn	「參」	けわしい山	nién	「念」	考える
tsèn	「怎」	疑問詞	piēn	「邊」	傍
tsén	「譖」	人を中傷する	p'iēn	「偏」	ゆがんだ、正し
t'sén	「槻」	棺の内部	くない		
vèn	「文」	美しい、優美な	p'iēn	「駢」	一對の馬
vèn	「忿」	怒り。口語では	pièn	「眨」	非難する
fèn と読まれる			p'ièn	「編」	言葉で惑わす
vén	「問」	問う	pién	「便」	便利である
yen <sup>49</sup>			p'ién	「片」	破片
yēn	「煙」	煙	siēn	「先」	以前に
yēn	「言」	言葉	siēn	「涎」	よだれ
yèn	「眼」	目	sièn	「鮮」	過少に
yèn	「諺」	諺	sièn	「線」	糸
hiēn	「軒」	車馬の脇	tsiēn	「尖」	楔形のもの
hiēn	「賢」	賢明な	t'siēn	「千」	1000
hièn	「險」	危険	t'siēn	「前」	～の前に
hién	「限」	阻止	tsièn	「剪」	切り離す、鋏
kiēn	「肩」	肩	t'sièn	「淺」	深くない
k'iēn	「謙」	卑下した	tsién	「賤」	卑しい
k'iēn	「虔」	尊敬する	t'sién	「倩」	美しい、ほほえ
k'ièn	「遣」	派遣する	んだ		
kièn	「減」	引き抜く	tiēn	「顛」	つむじ
kién	「見」	見る	t'iēn	「天」	天
k'ién	「欠」	欠けている、無	t'iēn	「田」	畑
力な			tièn	「典」	経書
る	lièn	「連」	t'ièn	「忝」	ふさわしくない、
			扱う		
			tién	「電」	稲光
			t'ién	「揜」	のぼす

<sup>48</sup> 「笨」の誤であろうか。

<sup>49</sup> 原文に番号は付されていない。付されているところが部分的にあるので、以下は原文の通りに番号を付す。

ouen

ouen 「溫」あるいは「嗚」 太

陽の熱

hoên	「昏」	薄明	suén	「選」	選挙によって
hoên	「魂」	魂	(選ぶ)		
hoèn	「混」	混乱して	tsuēn	「詮」	説明する
hoén	「溷」	よごれた	t'suēn	「拴」	戸のかんぬき <sup>51</sup>
kouen	「昆」	兄	t'suên	「泉」	温泉、泉
kouèn	「滾」	泡立つ	in		
kouén	「棍」	棒	—	「音」	音 <sup>6</sup>
k'ouên	「坤」	従順な	yn	「淫」	逸脱
k'ouèn	「捆」	棒で集める	yn	「引」	目標へ向ける
k'ouén	「困」	疲れた、憂鬱な	yn	「印」	印
tchouên	「專」	専心して	chīn	「身」	体、私
tchouèn	「轉」	回転する	chîn	「神」	聖霊
tchouén	「傳」	伝達	chìn	「審」	調査する
t'chouen	「川」	川	chín	「腎」	腎臓、睾丸
t'chouèn	「船」	船	tchīn	「珍」	貴重な
t'chouén	「串」	糸を束ねる	t'chīn	「嗔」	または「諷」 怒る
uen			t'chīn	「臣」	家来
yuên	「冤」	大きな音楽堂	tchìn	「枕」	まくら
yuén	「原」	端緒	t'chín	「疚」	死の病から
yuèn	「遠」	遠く	tchín	「朕」	王たる私
yuén	「願」	願望	t'chín	「趁」	好機に乗って
huên	「諼」 <sup>50</sup>	忘れさる	gīn	「人」	人
huên	「玄」	黒みがかった色	gìn	「忍」	忍耐
huèn	「烜」	熱で乾かす	gín	「認」	知る
huén	「炫」	光る	hīn	「欣」	喜ぶ
kūen	「涓」	純な、輝く	hìn	「罽」	塗りつける
k'uen	「卷」	環	kīn	「金」	金属
k'uên	「拳」	こぶし	k'īn	「欽」	崇め尊ぶ、尊敬
kuèn	「捲」	螺旋状に捲く	する		
k'uèn	「犬」	犬	k'īn	「禽」	鳥
kuén	「倦」	力のない	kìn	「謹」	細心
k'uén	「勸」	はげます	kín	「禁」	禁止する
juen	「掬」	手でこする	k'ín	「擒」	手で押さえる
juèn	「軟」	弱々しい	līn	「隣」	接近した
luén	「戀」	愛する、ほれる	lìn	「廩」	貯蔵室
suēn	「宣」	公表する	lín	「吝」	けちな
suên	「旋」	回る			
suèn	「選」	えらぶ			

50 「萱」のほうが適切であろう。

51 発音に従うなら「官吏を任命する」意味で「銓」の誤ということになり、ラテン語に従うならば発音は chouān となる。

mîn	「民」	大衆	tsūn	「尊」	ワインの壺、賞
mín	「閔」	同情する	贊する		
nîn	「紉」	針に糸を通す	t'sûn	「村」	村
nín	「佞」	悪い意味で能弁	tsùn	「擲」	たくさんのももの
な			を同時に		
pîn	「賓」	客	t'sùn	「村」	すべて取り除く
pìn	「稟」	上役に報告する	tsún	「俊」	すぐれた
pín	「鬢」	老境に入った髪	t'sún	「寸」	インチ
p'ín	「貧」	まずしい	tūn	「惇」	信頼すべき、誠
p'in	「品」	位階、段階	実な		
sîn	「心」	心、魂	t'ūn	「呑」	飲み下す
sin	「佻」	おそれをもって	t'ūn	「臀」	尻
sín	「信」	信じる、信頼	tùn	「眈」	眠る
tsîn	「津」	液体、よだれ	t'ùn	「余」	水の異体字
t'sin	「親」	両親	tún	「鈍」	にぶい
t'sín	「秦」	稲の一種	yun <sup>53</sup>		
tsìn	「儘」	あらゆる	yūn	「氤」	根元的要素につ
t'sin	「寝」	眠る、横になる	いていう		
tsín	「盡」	空にする	yūn	「云」	言う、話す
t'sín	「沁」	水を量る	yùn	「隕」	高いところから
chûn	「純」	損なわれない、	落ちる		
純粹な			yún	「運」	円を描いて動く
chún	「順」	従順な	hiūn	「薰」	草木の香り
tchûn	「窀」	穴に埋葬される	hiún	「訓」	教訓
t'chûn	「春」	春	kiūn	「君」	第一人者
tchùn	「準」	全部	k'iūn	「群」	群れ
t'chùn	「蠢」	粗野な、愚かな	kiùn	「窘」	きわめて貧しい
jùn	「喚」	なめる	kiún	「郡」	都市
jún	「潤」	水を導く	第九群		
lún	「輪」	輪	chāng	「商」	商人
lùn	「稊」	穀物の束	chàng	「賞」	特典を受ける
lún	「論」	散乱する <sup>52</sup>	cháng	「尚」	いまなお
nún	「嫩」	やわらかい	tchāng	「章」	明るい、美しい
sūn	「孫」	孫	t'chāng	「昌」	優れた文章
sùn	「巡」	経る	tchāng	「常」	いつも、普通の
sùn	「損」	除く	tchàng	「掌」	てのひら
sún	「遜」	従順な、謙遜し	t'chàng	「敞」	明瞭な、明るい
た					

<sup>52</sup> 「掄」のほうが適切であろう。

<sup>53</sup> 原文では tún の脇に付されているが改めた。

tcháng	「帳」	蚊帳	p'áng	「胖」	太った
t'cháng	「唱」	または「倡」	sāng	「桑」	桑の木
る			sàng	「頽」	ひたい
fāng	「方」	四角形	sáng	「喪」	死ぬ、滅ぼす
fāng	「房」	家	tsāng	「臧」	よい
fàng	「訪」	おとずれる	t'sāng	「藏」	隠す
fáng	「放」	解く	t'sàng	「柑」	大きな体
jāng	「漲」	非常に湿って	tsáng	「葬」	葬る
ることをいう			tāng	「當」	抵当
jàng	「嚷」	叫び	t'āng	「湯」	湯
jáng	「讓」	道を開ける、謙	t'āng	「堂」	邸宅、部屋
遜した			t'àng	「倘」	もし～なら
hāng	「夯」	強い、固い	t'áng	「盪」	鉢
hāng	「航」	航海する	vāng	「亡」	十分でない
háng	「筧」	杖	vàng	「往」	出発する
kāng	「鋼」	鋼	váng	「望」	希望する、希望
k'āng	「康」	喜び、平和	leāng	「涼」	微風、平静な
k'àng	「慷」	度量のある	leàng	「兩」	二つの、対
káng	「擯」	二つのものを同	leáng	「亮」	明るい、光
時に持ち運ぶ			yang		
k'áng	「炕」	乾かす	yāng	「央」	中央の
lāng	「郎」	男	yāng	「羊」	子羊
làng	「朗」	顕著な	yàng	「養」	養育する
láng	「浪」	波	yáng	「様」	形、模範
māng	「忙」	いそがしい	hiāng	「香」	香り
màng	「莽」	田舎の人	hiàng	「響」	谷間のこだま
máng	「滂」	大量の水について	hiáng	「向」	終わり、対象
ていう			kiāng	「江」	大きな川
nāng	「囊」	袋	kiàng	「講」	話す
nàng	「囊」	以前に	kiáng	「降」	降りる
náng	「儻」	遅鈍な、まごつ	k'iāng	「慶」	幸福 (k'ing)
かせる			k'iáng	「強」	強い
ngāng	「婁」	妻たる私	k'iàng	「強」	強い
ngāng	「卯」	男たる私	niāng	「娘」	女、母
ngáng	「盎」	盤	niàng	「迎」	仰ぎ見る
pāng	「邦」	王国	siāng	「箱」	箱
pàng	「榜」	竿、板	siāng	「庠」	学校
páng	「謗」	非難する	siàng	「想」	考える
p'āng	「滂」	降りしきる雨	siáng	「相」	助ける
p'àng	「旁」	そば	tsiāng	「漿」	食料となる液体

tsiàng	「漿」	櫂	ような		
tsiáng	「匠」	職人	lèng	「冷」	寒い
t'siàng	「鏘」	槍	léng	「陵」	正しく歩かない
t'siàng	「牆」	壁	mèng	「萌」	発芽する
t'siàng	「搶」	持ち去る	mèng	「猛」	残酷な
t'siàng	「嗆」	咳をする	méng	「孟」	とりかかる
ouang			nêng	「能」	～できる
ouàng	「王」	王 (vàng)	nghéng	「硬」	硬い
ouàng	「□」 <sup>54</sup>	～でない (vàng)	pēng	「崩」	倒れる、死ぬ
ouáng	「望」	希望 (váng)	p'ēng	「烹」	料理する
chouāng	「霜」	自然の基本要素	p'êng	「朋」	友人 (p'óng)
choàng	「爽」	誤る	sēng	「生」	生まれる、生産
tchouāng	「裝」	化粧、化粧する	する		
tchouàng	「惝」	満足でない	tsēng	「爭」	追求する
tchouáng	「壯」	強い、固い	tséng	「贈」	与える
t'chouāng	「窓」	窓	t'sēng	「掙」	支える
t'chouáng	「牀」	ベッド	t'sēng	「層」	階層
t'chouàng	「闖」	不名誉なことに	t'séng	「搗」	打つ、熱心な
関わる			tēng	「燈」	ランプ
t'chouáng	「創」	始める、基礎づ	tèng	「等」	待つ
ける			téng	「橙」	足台
kouāng	「光」	光	kouēng	「肱」	ひじ
k'ouāng	「狂」	愚かな、粗悪な	3. yng		
kouàng	「誑」	言葉で欺く	chīng	「升」	上る
k'ouáng	「曠」	結婚していない	chìng	「繩」	綱
hoāng	「荒」	穀物価格の高騰	chíng	「勝」	打ち負かす
hoàng	「黄」	黄色	tchīng	「貞」	固い、確固たる
hoàng	「誑」	虚偽の	tchìng	「整」	整頓された、用
2. eng			意した		
jēng	「仍」	以前のように	tchíng	「正」	正しい
hēng	「亨」	入りこむ	t'chīng	「稱」	賞賛する、呼ぶ
hēng	「恒」	常に、永遠	t'chīng	「成」	完成する
kēng	「更」	夜間	t'chìng	「逞」	速く
kèng	「梗」	役に立たない木	t'chíng	「秤」	重さを量る
kéng	「更」	再び	yng	「盈」	満ちた
k'āng	「坑」	陥穽	yng	「影」	影
k'èng	「肯」	～を欲する	yng	「應」	答える
lēng	「稜」	実。トウナスの	hīng	「馨」	広がった香り
			hīng	「形」	形

54 「□」に「芒」である。



	hìng	「悻」	憎んでいる	t'sing	「請」	丁寧に招待する
	híng	「幸」	幸不幸	tīng	「釘」	釘
	kīng	「京」	王城	tìng	「頂」	頭のとっぺん
	king	「景」	明るい	tíng	「定」	固定した、不変
	kíng	「敬」	うやまう の			
	k'ing	「輕」	重くない	t'ing	「聽」	聞く
	k'ing	「擎」	持ってくる	t'ing	「廷」	皇帝の宮殿
	k'ing	「頃」または kě	「刻」 その	t'ing	「挺」	棒
時に				t'ing	「聽」	判断する、訴訟
	k'ing	「磬」	石でできた鼓	4. ong		
	līng	「髻」	髪がほとんどな	ōng	「翁」	老人、光栄にも
い				òng	「聾」	耳鳴りがする
	līng	「零」	余った	óng	「甕」	かめ
	lìng	「領」	手に入れる	fōng	「風」	風
	líng	「另」	その上	fòng	「奉」	持ってくる
	mīng	「明」	明るい	fóng	「縫」	縫う
	mìng	「酩」	ひどく酔った	jōng	「戎」	武器
	míng	「命」	命令	jòng	「冗」	忙しい
	nīng	「寧」	平和、よりよい	hōng	「烘」	火で乾かす
	níng	「凜」	泥、滑りやすい	hōng	「弘」	大きい
	pīng	「兵」	武器、軍隊	hòng	「哄」	騙す
いる	pìng	「炳」	明るい、輝いて	hóng	「汞」	水銀
				kōng	「工」	技術
	píng	「病」	病んでいる	kòng	「拱」	両手で挨拶する
	p'ing	「娉」	美しい	kóng	「共」	全体的に
	p'ing	「平」	等しい	k'ōng	「空」	空の
	p'ing	「穎」	重々しい外観	k'òng	「恐」	恐れる
	p'ing	「娉」	結納金	k'óng	「控」	考慮する
	sīng	「星」	惑星、星	lōng	「聾」	耳の聞こえない
	sīng	「錫」	甘い、砂糖	lòng	「籠」	かご
	sìng	「醒」	目覚める	lóng	「弄」	遊ぶ、おどける
	síng	「性」	天性	mōng	「蒙」	受ける
	tsīng	「精」	簡素な、種	mòng	「懵」	愚かな
	tsing	「井」	井戸	móng	「夢」	夢
	tsíng	「靜」 <sup>55</sup>	静まる、静けさ	p'ông	「笕」	船の帆
	t'sing	「清」	明るい、小綺麗	sōng	「松」	松
な				sòng	「聳」	頂
	t'sing	「情」	性質、愛	sóng	「誦」	朗読する
				tsōng	「宗」	ふさわしい荣誉
				tsòng	「總」	すべて同時に

55 「静」の誤であろう。

tsóng	「従」	服従する	t'òng	「統」	君主制
t'sōng	「聰」	非常に鋭敏な	t'óng	「痛」	苦痛
t'sōng	「崇」	崇敬する	yōng	「雍」	調和
tchōng	「中」	中間の	yōng	「庸」	いつもの
tchòng	「踵」	かかと	yòng	「勇」	勇敢さ
tchóng	「重」	重い	yóng	「用」	用途、有用な
t'chōng	「充」	満ちた	hiōng	「熊」	クマ
t'chōng	「蟲」	動物	hiòng	「酗」	酔っぱらい
t'chōng	「寵」	寵愛、好意	kiòng	「綱」	厚い衣服
t'chóng	「銃」	銃	k'iōng	「穹」	弓状の
tōng	「東」	東方の	k'iòng	「窮」	終わり
tòng	「懂」	未熟な、不安な			
tóng	「動」	動く			全一覧表
t'ōng	「通」	よく入り込む			終わり
t'ōng	「童」	小児、童貞			

## 前掲の一覧への注記

第一に、あるものは音を、あるものは文字を通して教えられねばならない。品字箋はおよそ2万字を収めるが、音節は1500を超えない。一覧ではそんなに多くが示されているわけではない。なぜなら中国人は我々の24字母を知らず、従って彼らなりのやり方で弁別される多くの音を分別するからである。

第二に、私は辞書作りを目指したのではなく、優れた一覧を編したかったのである。そしてそれゆえに、一音一字のもの、意味が一つだけの字はどれも加えた。音は487に分かたれるが、声調が加えられると1445になる。そしてもし音がどれも5つの声調を持つならば2437になる。<sup>56</sup>しかし、そのようではない。なぜなら音節の大多数は、一覧を通読すれば直ちに分かるように、多くは3つ、他は二つ以上を持たず、あるものはたった一つしか許容しない、といった音節と同様に、4つの声調しか持たないからである。

第3に、一覧が示す1445の音節のうち、あるものはほとんど同音字を持たず、たった一つしか中国文字を持たぬものもある。つまり nghèn「恩」「恩義」、nghéng「硬」「硬い」、nèng「能」「できる」などである。あるものは対照的にきわめて多くの字を持つ。例えば y という音である。一覧には「義」「正義」あるいは「異」「ことなる」、「藝」「技術」、「堅」「塵」、「翳」「花の影」、「瘞」「葬る」、「噎」「暗い」、「殲」「殺す」、「擡」「深く礼をする」、「議」「話し合う」、「易」「易しい」、「裔」「子孫」、「毅」「忍耐」、「纒」「首をくくる」、「肄」「細い枝」、「乂」「導く」、「劓」「鼻をそぐ」、「睨」「片目で示す」などがある。これらはつまるところ、すべての字がお互いに異なっていて、その字形と意味に関してはオープンなようなものだ。しかし音と声調に関してその境界線は全くなく、そのため文字はやたらと多くとも、yは一つなのである。

第四に、読むべき文字のうち、一覧に表されていない字が出てきても、あなたはその適

<sup>56</sup> 単純に計算すれば、487×5は2435になる。

切な位置を提示することができるだろう。つまり、「似」“にている”、「賜」“与える”、「使」“使節”、「事」“仕事”、「寺」“神殿”、「士」“文人”、「俟」“待つ”、「鋤” “鋤”などが現れたときだ。すべてが ssé と読まれるのだから、あなたはこれを「四」ssée で引く。これなら一覧にあり、そしてこの方法で、あなたが本を読み中国語が書けるよう、たくさんの必要とする字数を満足するまで、徐々に字が増やされてゆくのだ。あなたの辞書の中の数多い役立たずな部分とともに良くないところを記憶に残しておくよりは、このように長くよりよく記憶に留めよ。

第五に中国語の発音を学びはじめめる人は誰でも1,2ヶ月一覧を通読することで大きな収穫を得ることができる。ここで、知ったことをその中国文字の側に書き留めておくことが必要であり、明瞭な声調と気音をもって徐々に読音を学んでいくことも必要だ。しかしあなたのいるところによっては全く逆の発音があろう。多くの文人たちはその省ないしは町で使われている音を用いて召使いたちに話すものだ。もしそのようであるならば、あなたに彼が教える中国語はマンダリンの音を正しく習得させないし、そのような教師はあなたに利益をもたらさないどころか有害である。そのため私は我々の文字でマンダリンにおいて有すると確信した音を描写することを試みた。もし多くの音があなたの教師によって私が記したのと同じように発音されれば、あなたはその人を信頼しても問題ない。もし私の記音とどこかで異なっても私が記音を誤ったように見えないならば、特にたくさんの他の字を同じように発音しているのをあなたが聞くならば、受け取る少数の音に関して中国人の間でも変化することがあると忠告する。先に全文字の一覧ですべての文字が注記されたが、アスタリスクでマークしたいいくつかの箇所を見よ。<sup>57</sup>この追加事項によって、中国人の教師が一覧を読む間しばし、新来の宣教師は耳全体で自分が聞いた音と声調を飲み込んでほしい。彼自身で、その音節の後に大きな声で教師に向かって発音し、それが誤っていたときも自分を責めないでほしい。そして耳が本当に慣れるまではこの苦勞をやめないでほしい。

第六に、前の部分で音や声調についてけっして全てを述べたわけではないのだが、これがあらゆる宣教師がさらに学習しようとする全てなのであるから、一覧だけは完全なものである。

声調を有するのであるから、私はそれらを同時に、その現れる順序で五つに並べた。例えば「迂」yū、「魚」yū、「雨」yù、「雨」yú、「域」yǔ、「溪」k'ī、「奇」k'ī、「起」k'ì、「素」k'í、「乞」k'íなどのように。そうすることで、あなたはそれらの間にある違いを感じ取ることができるだろう。しかし、もしこの方法が十分でないなら、中国人が次々と同じ声調の複数の字を読むようにやってみよ。例えば「燒」chāo、「招」tchāo、「蒿」hāo、「尻」k'āo、「包」pāo、「騷」sāo、「遭」t'sāo、「刀」tāoなどのように。あるいはさまざまな母音で、例えば「該」kāi、「腮」sāi、「非」fēi、「難」souī、「甜」hān、「甘」kān、「先」siēn、「心」sīn、「孫」sūn、「方」fāngなどのように続ける。ついで同じやり方で他の声調に進む。例えば「扶」fōu、「模」mōu、「奴」nōu、「吾」ngōu、「壺」vōuなどである。それぞれ異なった二つあるいは三つの声調を同時に練習することもやってほしい。例えば「兒」èull、「二」éull;「安」ngān、「閑」ngàn、「按」ngán;「訪」fàng、「致」fāng;「致」kíng、「景」kíng;「禁」

<sup>57</sup> 実際にはアスタリスクのある箇所はないようである。

kín、「謹」kinのように。あるいは有気音を混せて「母」tān、「貪」t'ān、「坦」t'àn、「胆」t'àn;「破」pō、「玻」p'ō、「播」pó、「頗」p'ò、「破」p'ó、「跛」pòなどのように。要するに、我々の歌がレ・ミ・ファ・ソ・ラのように音階を区別するがごとく、明確かつ容易に中国の声調を習得するまでは、同様な数多くの方法を試みられたい。

特に声調によって音を聞き分けるのであるから、宣教師は雇っている中国人がどのように一覧を読むかを注意深く聞き、中国人が正しい発音を教え込む間に、私が誤ったかも知れないところ、特に kièou, tièou, hoan, tsuen, kouei などといった字の語中の音を理解するだろう。同様に、声調によって生まれた音質についても理解するだろう。例えば第五声は「力」lì、「匹」p'ì、「夕」sǐ、「七」ts'íなどのように極めて短くなる。あるいは第一声はそれを逆にして発声する。「西」sī、「卑」pī、「衣」<sup>56</sup>yなどのように。そしてそれらに行うのか知覚してほしい。「羅」lí、「覓」mí、「泥」ní、「身」chīn、「神」chínなど、あるいは「把」pà、「雅」yà、「哥」kō、「果」kò、「七」vāng、「往」vàngなど、あるいは「小」xiào、「笑」xiaó、、「遠」yuèn、「願」yuén、「悔」koèi、「謔」hoéi、「味」ouéi、「碎」souí、「口」<sup>58</sup>hò、「火」hò、「貨」hó などである。一覧の全てを慣れ親しんだものとする一つの一つの語によって、全ての中国語音をより慣れてよりよく発音できるよう望む。

#### 結論

中国の本を、少なくとも名前くらいは知っておくこと、中国人が発音するように字を発音する方法を知ることが重要であるといえる。この二つはこの序章で私が述べたことだ。中国語の本質をよく知らなければ、あなた方は決して正しく話すことも美しく書くこともできない。中国語文注解はまことに巧みに編纂されているのであるから、この小品の以降の一部なりともあなたにとって役立つよう希望している。

(付記:本研究は文部科学省 21 世紀 COE プログラム アジア地域  
文化エンハンシング研究センターの研究成果の一部である)

58 印刷が不鮮明のため判別できなかった。